



いのちの大切さを考える絵本（幼児～小学生向け）

「みとめあうってすてきだね」6

読み聞かせを楽しみながら いのちの大切さを考えてみませんか？
市内5つの図書館で借りられます。



東村山市立図書館

とりがいるよ 風木一人／さく たかしまてつを／え KADOKAWA

いっぱい とりがいるよ。その中に、1匹だけあかいとり、1匹だけおおきなとり、1匹だけながーいとり…。見つけるのが楽しいカラフルな絵本。いろんなとりがいるってステキだと思います。

ろってちゃん ディック・ブルーナ／ぶん・え まつおかきょうこ／やく 福音館書店

ボールあそびをしているさんにんのところへ、くるまいすにのったろってちゃんがやってきました。さいしょは、ろってをなかまにいたくなくかったこーすとけーしえですが…。

凸凹ぼしものがたり ^{でこぼこ} あんびるやすこ／作・絵 ひさかたチャイルド

凸凸（でこでこ）じんと凹凹（ぼこぼこ）じんは、よく似ているのにお互いの違いを認めず、別々に暮らしていました…。でも違うところがあるからこそ、助け合えるし、仲良くなれるんです。

わたしはあかねこ サトシン／作 西村敏雄／絵 文溪堂

しろねこかあさんとくろねことうさんからうまれたのに、きょうだいの中でわたしだけ毛の色があかい。みんなは、かわいそうって言うけれど、わたしは、きれいでかわいいこの色がすき。

耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ

ナンシー・チャーニン／文 ジェズ・ツヤ／絵 齊藤洋／訳 光村教育図書

耳の聞こえないウィリアムはプロ野球選手になりました。ある日試合で審判が「ストライク」と言ったのが聞こえず、みんなから笑われてしまいます。審判のジェスチャーを考えた、すごい選手のお話。

みえないってどんなこと？ 星川ひろ子／写真・文 岩崎書店

目の不自由なめぐみさんが学校に来てくれました。みんなでアイマスクをして「みえないこと」を体験します。声をかけてもらったり、肩に手をのせてもらおうと歩きやすいことがわかります。写真絵本。

だいじょうぶだよ、おばあちゃん 介護のえほん 福島利行／文 塚本やすし／絵 講談社

いなかのおばあちゃんが転んでけがをしてから、おじいちゃんがずっと「かいご」している。だからぼくとおねえちゃんとおてつだいをすることになったけど、どんなことを助けてあげられるかな？

あなた 谷川俊太郎／文 長新太／絵 福音館書店

わたしのまわりにいる人は、みんな「あなた」でわたしとはちがう人。でも新しい「あなた」との出会いでわたしの世界は広がっていく。わたしと「あなた」、みんなで助け合って生きているんだなあ。

【平成28年度 東村山市「いのちの教育」推進プラン関連事業 平成28年12月発行】